

ニュースレター

DSD/JICA Project on Disability



Department of Social Development (DSD) / Japan International Cooperation Agency (JICA)
Project for the Promotion of Empowerment of Persons with Disabilities and Disability Mainstreaming

クワズル・ナタル州で DEM プロジェクトが始まりました！

2019年8月14から16日にクワズル・ナタル州マンデニ市で、障害者のエンパワメントと主流化（DEM）ワークショップを実施し、DEMプロジェクトを開始しました。

リンポポ州、フリーステート州、東ケープ州に続く実施となり、これにより南アフリカ9州のうち半数近くの州でDEMプロジェクトが試行的に実施されることとなります。



(図) 南アフリカの9州

ワークショップには、地元の障害者代表、社会開発省行政官、プロジェクトサイトの市議会議員、知事室など関連省庁の行政官、特別支援学校の教師

などプロジェクト作業部会のメンバーを中心とした約25名が参加しました。

DEMプロジェクトでは、先行州で行った活動の成果や教訓を次の州での活動に生かしています。例えば、クワズル・ナタル州でのワークショップは、東ケープ州で6月に実施した同研修の教訓を生かした内容です。まず、東ケープ州では1.5日間だった研修期間を2.5日間に延長し、参加者の議論の時間や活動実施日の検討に十分な時間を確保できるようにしました。また、同ワークショップ後の最初の活動を人材育成研修とし、研修で育成された人材がコミュニティで活動を実施していく流れを明確にしました。

ワークショップ1日目は、社会モデルに根ざした障害理解の促進およびベースライン調査結果の発表です。社会開発省イレンベ郡の障害担当調整官ザマさんは、6月に障害者を対象に実施したアンケートを分析し、結果をパワーポイントにまとめ、調査結果を発表しました。

調査結果から、物理アクセス、公共交通機関のアクセス、視覚障害者の情報アクセス、社会の態度などの課題が特定されました。



(写真) ベースライン調査結果を発表する DSD 郡障害担当調整官ザマさん (中央右)

ワークショップの 2 日目は、活動計画の作成です。参加者たちは 4 つのグループに分かれ、ワークショップ 1 日目に発表されたベースライン調査結果を基に、プロジェクトサイトの課題をグループ毎に 1 つ選定し、その課題解決のための活動計画を作成しました。作成された活動計画は、①省庁における障害者雇用の促進、②公共交通機関のアクセス改善、③特別支援学校での建築・情報アクセスの改善、④視覚・聴覚障害者の公共サービスへの情報・コミュニケーションアクセスの改善の 4 つです。



(写真) 活動計画を作成する参加者たち

ワークショップの 3 日目は、上記 4 つの活動計画の優先順位付けと統合・最終化を行いました。4 つの活動計画には、アクセシビリティという共通した課題があることから、まずはアクセス調査員育成研修を 9 月に実施することとし、その後、4 つの活動計画を順次実施していく予定です。



(写真) 作成された活動計画について意見を交わす参加者たち

社会開発省行政官による障害主流化への取り組みが広がっています！

「担当するプログラムにおいて障害主流化に取り組みたい」というプロジェクト事務所への問い合わせが最近多くなってきました。例えば、子ども担当部署、HIV/エイズ担当部署などからの相談が届いています。

社会開発省行政官による障害主流化へ向けた積極的な取り組みを 2 件ご紹介します。

リンポポ州社会開発省による障害主流化研修

2019 年 8 月 21・22 日にリンポポ州ベンベ郡で障害主流化研修が開催されました。本研修は、プロジェクトサイト中心メンバーであるリンポポ州およびベンベ郡社会開発省が企画したも

ので、同省のソーシャルワーカーや作業所などの施設代表など約 35 名が参加しました。

同研修は、プロジェクト主要メンバーである州および郡障害調整官がプロジェクトで得た知見を活かし、彼女らの主導で進行されました。研修プログラムは、プロジェクトで取り組んでいる①知識の習得、②実習、③行動計画作成の一連の流れが踏襲した内容です。また、プロジェクトを通じて育成された障害者がファシリテーターとして協力しており、障害者が中心となり活動を進めていくというプロジェクトの理念が反映されたデザインとなっていました。同研修では、①障害種別啓発キャンペーン計画の作成および実施、②障害者施設におけるアクセス調査の実施とアクセス改善、③施設の日々の活動の中に障害者のエンパワメントを促すプログラムを取り入れる、の3つの活動計画が作成されました。

リンポポ州社会開発省は、同州他郡でも同様の研修を予定しており、コミュニティで着実に障害主流化が促進していくことが期待されます。



(写真) どのようなスロープを施設に設置すればよいか考える参加者たち

社会開発省本省の子ども担当部署対象障害主流化研修の実施

子ども担当部署の依頼を受け、2019年8月8日、社会開発省本省で子ども担当部署職員を対象とした障害主流化研修を実施しました。

同研修では、マンティピ課長、クリッシュ副課長が障害者サービスや DEM プロジェクトの概要を説明し、障害啓発担当ベニー職員が南アフリカの障害に関する法や政策の説明を行いました。同研修は大変好評で、子ども部署が提供しているサービスへの障害のある子どもの参加促進について活発な議論が交わされました。



(写真) 障害主流化について真剣に耳を傾ける子ども担当部署職員

最新のプロジェクト進捗状況は、プロジェクト Facebook ページをご覧ください！

JICA SADEM :

<https://www.facebook.com/jicasouthafricadisabilityempowermentmainstreaming/>

編集:

原田 真帆 MahoH@dsd.gov.za

上岡 廉 RenK@dsd.gov.za